



建築材料の 新たな可能性 を求めて

新たな建築材料として基準整備が進められている CLT や重ね梁等の新製品や新工法について、その可能性についてのセミナーを開催いたします。会場ではパネル展示もおこないます。



【CLTとは】CLTとは、Cross Laminated Timber（クロス・ラミネイティド・ティンバー）の略で、欧州で開発された工法となります。CLTは板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことを呼びます。平成25年12月20日に日本農林規格（JAS）として、直交集成板の名称により制定され、平成26年1月19日施行されました。一般的によく知られている集成材は、張り合わせる板の繊維方向に張り合わせるのに対して、CLTは、繊維方向が直交するように交互に張り合わせていきます。

○平成27年9月29日（火）13:30～16:30 **おかやま西川原プラザ**（岡山市中区西川原255）

腰原 幹雄 氏（東京大学生産技術研究所教授）テーマ「線材と面材 CLT 建築の可能性」
桐山 博行 氏（真庭市役所）＋銘建工業株式会社担当者 テーマ「真庭市の事例についての紹介」

○平成27年10月23日（金）13:30～16:30 **コンベックス岡山**（岡山市北区大内田675）

安藤 直人 氏（東京大学大学院農学生命科学研究科木質構造学研究室特任教授）
テーマ「CLT等への国産材利用の課題」
中島 貴司 氏（公益財団法人日本合板検査会中国検査所検査業務課長兼試験室長）
テーマ「CLTのJAS規格について」

○平成27年11月18日（水）13:30～16:30 **岡山市民会館**（岡山市北区丸の内2丁目1）

河合 直人 氏（工学院大学建築学部教授）テーマ「CLT構造の耐震性能」
竹久 正 氏（院庄林業株式会社常務取締役） テーマ「重ね梁材と柿渋塗装内装材について」

聴講をご希望される場合は下記申込書にて事前申込みしてください。定員は各会場100名です。申込み締め切りは各セミナー日の10日前までです。

▶▶▶ 申込書 F A X 番号 086-221-2185

お名前	様		
ご連絡先	()	-	
勤務先			
希望聴講日	希望日に○をしてください	10/23	11/18